

滝ヶ原駐屯地の糧食班がラジオに出演



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・杉谷康征1等空佐）は4月13日（火）、陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地（御殿場市）でラジオ収録を行った。

収録したのは、エフエムしみずで毎週水曜日に放送されているラジオ番組「自衛T・M・E・S★静岡」。番組のパーソナリティが同駐屯地を訪れ、隊員の給食を担当している「業務隊糧食班」の隊員2人と軽快なトークを繰り広げた。

収録は駐屯地内の幹部食堂で、パーソナリティと隊員が対面にならないよう着席して行われた。

まず収録に臨んだのは、糧食班長の釧持祐司3等陸尉。3月に着任したばかりの釧持3尉は、食材の調達から調理・配食など全般の調整を行っている班長としての仕事や、食堂でのコロナ対策などを紹介。「隊員のニーズに応え、食材の地産地消によって地域の活性化に貢献したい」と今後の目標を語った。

次に収録したのは、糧食班の管理栄養士、千々輪佳那技官。献立作成などを担当している千々輪技官は、量が多くカロリーの高い自衛隊のメニューに最初は戸惑ったものの、栄養価が高く、肉だけでなく野菜や魚もたくさん食べられるメニュー作りを心掛けていると話した。

また、水を一切使わない「滝ヶ原力レー」、陸自飯館ランプリご当地グルメ部門で3位に入賞した、地元食材を使った「ミックスフライ」など、駐屯地で人気のメニューを紹介した。

静岡地本は、今後も各部隊と協力して自衛隊の仕事や魅力をPRしていく。



「自衛隊の活動を知るセミナー」を共同実施

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・杉谷康征1等空佐）は4月17日（土）、清水区役所ふれあいホール（静岡市）で、清水自衛隊友の会と共同で「2021年自衛隊の活動を知るセミナー」を実施した。

静岡地本が同会と共同でセミナーを実施するのは初めて。当日は検温や手指消毒などを徹底し、約80人が受講した。

セミナーは2部構成で行い、第1部は静岡地本部長が日本の防衛と災害派遣活動について、資料や動画を使いわかりやすく紹介した。

第2部は、静岡地本募集課広報班がロープを使った枯索法や、地震発生時に自分の身を守るために必要な知識について、動画や実技を交えながら解説した。

結索法では、万能な「もやい結び」、重いものの移動に使える「ねじ結び」、三角巾を使った応急処置などに使える「本結び」の3種類を広報班の自衛官が実演。セミナーの受講者は「ライフハックなど、知識の有無が災害時に危険を回避できるかどうかに関わることを改めて感じた。話を聞くことができてよかった」と防災意識を新たにしていた。

静岡地本は、自衛隊の災害時の活動や災害時役立つライフハック等を一人でも多くの県民に知ってもらうため、今後も講話などを積極的に行っていく。

